

TAC行政書士講座無料公開セミナー
受験経験者のための戦略的学習法

1. 平成26年度本試験の振り返り

- ① 平成26年度本試験の講評
- ② 現状レベル把握

2. 学習法総点検

- ① 観点1：講義受講／自分のものにするための学習
- ② 観点2：勉強／作業
- ③ 観点3：質／量

3. 平成27年度本試験合格戦略

- ① 受験経験者の成長曲線
- ② 戦略的学習法

1. 平成26年度本試験の振り返り

①平成26年度本試験の講評

a.全体的な難易度 ⇒ やや易 ・ 例年並み ・ やや難

b.平成26年度本試験の特徴

- ・ 民法
- ・ 問題における肢のバランス

c.求められる力

⇒ 勝負できる肢で勝負する力

⇒ _____力と _____眼

②現状レベル把握

a.得点の目安

分野	科目	取りたい問題	目標点
法令択一	基礎法学	1問	4点
	憲法	3問	12点
	行政法	15問	60点
	民法	2問	8点
	商法	3問	12点
多肢選択	問題4-1	3個	6点
	問題4-2	4個	8点
	問題4-3	2個	4点
40字記述	問題4-4	-	20点
	問題4-5	-	10点
	問題4-6	-	8点
一般知識		7問	28点
合計			180点

b.学習指針

⇒択一で124点以上：問題演習中心
未満：基礎から土台固め

2. 学習法総点検

① 観点1：講義受講／自分のものにするための学習

⇒講義受講：自分のものにするための学習＝ ：

⇒改善

スケジュールリング

講義への臨み方：講義は の場

② 観点2：勉強／作業

⇒作業：情報の一元化

カード化

⇒改善

最低限にとどめる

 に入る前に終わらせておく

③ 観点3：質／量

⇒ 質 × 量
() ()

⇒改善

質を高める

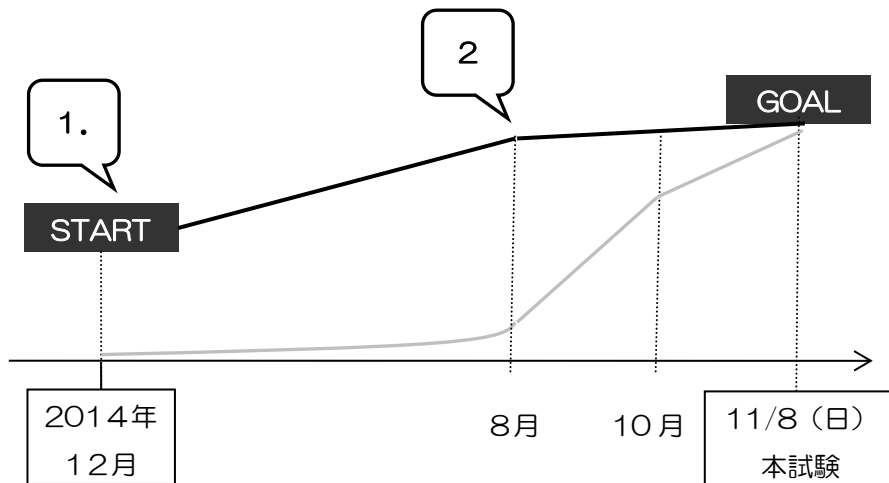
{ × 正解肢を覚えて繰り返し
○ 全肢について正誤がつけられる

{ × 細かい知識にまで手を広げる
○ 基本事項の に重点を置く

3. 平成 27 年度本試験合格戦略

① 受験経験者の成長曲線

※グレーの線は、初學者の成長曲線



② 戦略的学習法

⇒「既に全体がわかっている」という強みを活かす

フェーズ		学習方法
1.	実力完成期	衰えてしまった知識を回復、足りない部分を補充し、8月には合格レベルに到達する。 ・マスターするのに時間がかかる科目（民法）からスタート ・テキスト読み込みの時間を取る ・復習の場として講義を活用する ・作業完了
2.	実力キープ期	いつが試験でも合格できる状態。合格レベルに達した実力のキープ、最終調整。 ・本試験形式の問題集を解く ・暗記事項の確認